

科目名	東洋医学概論 2						年度	2024	
英語科目名	Overview of Oriental Traditional Medicine 2						学期	後期	
学科・学年	鍼灸科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	奥山夕記子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		鍼灸師		
<b>【科目の目的】</b> 東洋医学の独自の概念で人体の機能をイメージできるようになる。 五行論から身体を賄う臓腑の機能について理解できる。 「気」の思想から始まり、気・血・津液など経理活動を営む物質について理解できる。 経穴概論や実技の内容と合わせて滴貫うな経穴の位置や関連する臓腑について説明できる。									
<b>【科目の概要】</b> 東洋思想の陰陽五行論を基礎理論として、東洋医学的な身体メカニズムや病気についての考え方、診断施術法について学ぶ									
<b>【到達目標】</b> A. 五臓の生理作用、特性と関連領域について理解している。 B. 六腑の機能について理解している。 C. 東洋医学における病気の原因について理解している									
<b>【授業の注意点】</b> 授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。 受講時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講できるが出席の扱いをしない。 課題は本科の規則に従った形式で提出する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	五臓の生理作用、特性、関連領域の器官についてすべて理解している	五臓の生理作用、特性、関連領域の器官について3つ以上は理解している	五臓の生理作用と関連領域の器官について2つ以上は理解している	五臓の生理作用と関連領域の器官についての理解が曖昧である	五臓の生理作用がほとんど理解できていない				
到達目標 B	六腑の生理作用と特性についてすべて理解している	六腑の生理作用と特性について4つ以上理解している	六腑の生理作用と特性について3つ以上理解している	六腑の生理作用の理解が曖昧である	六腑の生理作用がほとんど理解できていない				
到達目標 C	東洋医学における病気の原因、外感病、内傷病についてすべて理解している	東洋医学における病気の原因、外感病、内傷病をほぼ理解している	東洋医学における病気の原因のうち外感病または内傷病を解している	外感病の原因の六淫については理解している	病因論が病気の原因である認識が無い				
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 東洋医学概論 東洋療法学校協会編 医道の日本社									
<b>【参考資料】</b> 特になし									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 期末試験で100%評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		東洋医学概論 2			年度	2024
英語表記		Overview of Oriental Traditional Medicine 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	臓象論五臓の機能 1	脾の生理作用とは	1 運化作用とは	脾の運化作用について理解している	3	
			2 統血作用とは	脾の統血作用について理解している		
			3 現代生理との相違点	現在の脾臓との相違点について理解している		
2	臓象論五臓の機能 2	脾の特性と関連領域	1 清昇作用とは	脾の昇清作用について理解している	3	
			2 喜燥惡湿とは	喜燥惡湿の意味が理解できる		
			3 脾の関連領域	脾と関連する器官を色体表から選ぶことができる		
3	臓象論五臓の機能 3	肺の生理作用とは	1 主気とは	肺の働き主気について理解している	3	
			2 宣発・肅降とは	肺の宣発・肅降の働きについて理解している		
			3 現代生理との相違点	現在の肺との相違点について理解している		
4	臓象論五臓の機能 4	肺の特性と関連領域	1 華蓋とは	華蓋とは何かを理解している	3	
			2 肺為嬌臓とは	肺為嬌臓の意味を理解している		
			3 肺の関連領域	肺と関連する器官を色体表から選ぶことができる		
5	臓象論五臓の機能 5	心の生理作用とは	1 主血とは	心の働き主血について理解している	3	
			2 心神とは	心は神を蔵することを理解している		
			3 現代生理との相違点	現在の心臓との相違点について理解している		
6	臓象論五臓の機能 6	心の特性と関連領域	1 臟腑統括とは	心が臟腑を統括していることを理解している	3	
			2 主陽気とは	心が陽気を主ることを理解している		
			3 心の関連領域	心と関連する器官を色体表から選ぶことができる		
7	臓象論五臓の機能 7	腎の生理作用とは	1 蔵精とは	腎が精を蔵することを理解している	3	
			2 主水・納気とは	腎の主水・納気作用について理解している		
			3 現代生理との相違点	現在の腎臓との相違点について理解している		
8	臓象論五臓の機能 8	腎の特性と関連領域	1 封臓とは	封臓の意味を理解している	3	
			2 上古天真論	上古天真論の腎精の話を理解している		
			3 腎の関連領域	腎と関連する器官を色体表から選ぶことができる		
9	臓象論五臓の機能 9	肝の生理作用とは	1 疏泄作用とは	肝の疏泄作用について理解している	3	
			2 蔵血作用とは	肝の蔵血作用について理解している		
			3 現代生理との相違点	現在の肝臓との相違点について理解している		
10	臓象論五臓の機能 10	肝の特性と関連領域	1 昇発とは	肝の特性昇発の意味を理解している	3	
			2 条達とは	肝の特性条達の意味を理解している		
			3 肝の関連領域	肝と関連する器官を色体表から選ぶことができる		
11	六臓の機能 1	六腑の生理作用とは 胃・小腸・大腸	1 胃の生理	胃の働きと特性を理解している	3	
			2 小腸の生理	小腸の働きと特性を理解している		
			3 大腸の生理	大腸の働きと特性を理解している		
12	六臓の機能 2	六腑の生理作用とは 膀胱・三焦・胆	1 膀胱の生理	膀胱の働きと特性を理解している	3	
			2 三焦の生理	三焦の働きと特性を理解している		
			3 胆の生理	胆の働きと特性を理解している		
13	臟腑以外の器官について	奇恒の腑の生理作用	1 骨・髄・脳	骨・髄・脳の働きと五臓との関連を理解している	3	
			2 血脈・胆	血脈・胆の働きと五臓との関連を理解している		
			3 女子胞	女子胞の働きを理解している		
14	病因論 1	外邪と外感病について	1 外感病とは	東洋医学における病気の原因を説明できる	3	
			2 外邪（六淫）の特徴	六淫のそれぞれの性質と体への影響を理解している		
			3 疫癘とは	疫癘とは何か理解している		
15	病因論 2	内傷病について	1 内傷病とは	内傷病とは何か説明できる	3	
			2 生活要因の原因	飲食不節・劳逸・房事過多について説明できる		
			3 七情の失調	七情の失調について理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等